



Title	附表 大阪大学大型計算機センターニュース 第114号 (Vol.29 No.3)
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 2000, 114, p. 116-122
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/66367
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「速 報」 (1999.9~2000.2) 掲 載 一 覧

No. 2 9 2 (1999.9.9)

1. 平成11年度 後期利用者講習会の開催について
2. 利用者講習会受講に伴う旅費の支給について
3. PHS (PIAFS準拠) によるインターネットサービスの開始について
4. ポートセレクト・専用回線接続サービスの廃止に伴う
モデムの引渡しについて (再掲載)
5. 平成11年度利用相談員の募集について
6. FORTRAN77/SXコンパイラのバグについて

No. 2 9 3 (1999.10.8)

1. 平成11年度 後期利用者講習会の開催について (再掲載)
2. 利用者講習会受講に伴う旅費の支給について (再掲載)
3. クロスコンパイラ用ASLライブラリについて
4. 豊中地区INDIGOアプリケーション移設について
5. JVISIONバージョンアップのお知らせ
6. hppa2.0wP-hp-hpux11.00 Club (hpusers@center.osaka-u.ac.jp) 参加ご案内
7. ポートセレクト・専用回線接続サービスの廃止に伴う
モデムの引渡しについて (再掲載)

No. 2 9 4 (1999.11.9)

1. 「コンピュータ西暦2000年問題」について
2. 年末年始のサービスについて
3. ポートセレクト・専用回線接続サービスの廃止に伴う
モデムの引渡しについて (再掲載)
4. ユーザアンケートの実施について
5. 科学研究費および産学連携等研究費での利用期限について

No. 2 9 5 (1999.12.13)

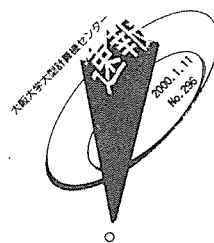
1. 計算機利用申請 (11年度申請、12年度継続申請) について
2. 科学研究費および産学連携等研究費での利用期限について (再掲載)
3. 年末年始のサービスについて (再掲載)
4. ポートセレクト・専用回線接続サービスの廃止に伴う
モデムの引渡しについて (再掲載)
5. 平成11年度 利用相談員について
6. sx-4におけるギャングスケジュールの廃止について

No. 296 (2000.1.11)

1. 計算機利用申請（11年度申請、12年度継続申請）について（再掲載）
2. 科学研究費および産学連携等研究費での利用期限について（再掲載）
3. APPLYコマンドによる他センターへの申請について
4. FORTRAN90/SX性能改善・機能強化について
5. MARCおよびMENTATのバージョンアップについて
6. アプリケーション：Gaussian98の追加について
7. sx4のNQSジョブの処理状況について
8. 平成11年度データベース指導員の交替について

No. 297 (2000.2.10)

1. 平成12年度定額制試行について
2. FLUENT/UNSのバージョンアップについて
3. 平成12年度 利用相談員の募集について
4. 科学研究費および産学連携等研究費での利用期限について（再掲載）
5. 計算機利用申請（11年度申請、12年度継続申請）について（再掲載）
6. APPLYコマンドによる他センターへの申請について（再掲載）



WWWサーバー一覧

この欄には、大型計算機利用大阪地区（第6地区）〔大阪府、和歌山県、奈良県、兵庫県、岡山県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県〕の大学等のうち、WWWサーバを公開している機関を掲載しています。

上記地区に所在し本センターを利用している機関で、WWWサーバを公開される場合は、この欄に掲載します。
共同利用掛（電話 06-6879-8808 / E-mail kyoudou@center.osaka-u.ac.jp）へご連絡ください。

(大阪府)	大阪大学	http://www.osaka-u.ac.jp/
	大阪医科大学	http://www.osaka-med.ac.jp/
	大阪学院大学	http://www.osaka-gu.ac.jp/
	大阪教育大学	http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/
	大阪歯科大学	http://www.osaka-dent.ac.jp/
	大阪商業大学	http://www.daishodai.ac.jp/
	大阪電気通信大学	http://www.osakac.ac.jp/
	大阪府立大学	http://www.osakafu-u.ac.jp/
	追手門学院大学	http://www.otemon.ac.jp/
	関西大学	http://www.kansai-u.ac.jp/
	大阪経済大学	http://www.osaka-ue.ac.jp/
	大阪女子大学	http://www.osaka-wu.ac.jp/
	大阪市立大学	http://www.osaka-cu.ac.jp/
	国立民族学博物館	http://www.minpaku.ac.jp/
	国立大阪病院	http://www.onh.go.jp/
	摂南大学	http://www.setsunan.ac.jp/
	桃山学院大学	http://www.andrew.ac.jp/
	大阪芸術大学	http://www.osaka-geidai.ac.jp/
(和歌山県)	和歌山大学	http://www.wakayama-u.ac.jp/
(奈良県)	帝塚山大学	http://www.tezukayama-u.ac.jp/
	奈良大学	http://www.nara-u.ac.jp/
	奈良教育大学	http://www.nara-edu.ac.jp/
	奈良先端科学技術大学院大学	http://www.aist-nara.ac.jp/
(兵庫県)	大手前女子学園	http://www.otemae.ac.jp/
	関西女学院短期大学	http://www.kj-c.ac.jp/
	関西学院大学	http://www.kwansei.ac.jp/
	甲南大学	http://www.konan-u.ac.jp/
	神戸大学	http://www.kobe-u.ac.jp/
	神戸学院大学	http://www.kobegakuin.ac.jp/
	神戸商船大学	http://www.kshosen.ac.jp/
	産業技術短期大学	http://www.sangitan.ac.jp/
	園田学園女子大学	http://www.sonoda-u.ac.jp/
	聖和大学	http://www.seiwa-u.ac.jp/
(岡山県)		
(香川県)	高松大学	http://www.takamatsu-u.ac.jp/
(愛媛県)	愛媛大学総合情報処理センター	http://www.ehime-u.ac.jp/
(高知県)		
(徳島県)	徳島大学	http://www.tokushima-u.ac.jp/
	四国大学	http://www.shikoku-u.ac.jp/

ジョブクラスと制限値

ジョブクラス		演算時間	主記憶	CPU数	一時ファイル	換算係数
スーパーコンピュータ SX-4	会話型	1 時間	1 G B	1	—	1
	p 4	4 0 時間	2 G B	4	4 G B	1
	p 8	4 0 時間	2 G B	8	4 G B	1. 5
	p 1 6	8 0 時間	4 G B	1 6	8 G B	2. 5
	p 3 2 m	申請	3.8GB×2	1 6 × 2	申請	4
	p 6 4	申請	7 G B × 2	3 2 × 2	申請	6

- (注) 1. 演算時間は全CPU時間の合計で制限されます。
 2. 利用可能主記憶領域はOS使用領域を含んでいるため、目安とお考え下さい。
 3. p 4～p 6 4の各クラスは並列処理です。資源を有効利用するためにも適切なクラスにジョブを投入して下さい。
 4. p 3 2 m、p 6 4の利用は申請が必要です。詳細は、システム管理掛にお問い合わせ下さい。

I P ネットワークのドメイン名

機種総称名	システム名	ドメイン名
スーパーコンピュータ	SX-4	sx4.center.osaka-u.ac.jp
ワークステーション群	UP4800 Alpha Indigo2	up02.center.osaka-u.ac.jp alpha01.center.osaka-u.ac.jp indigo01.center.osaka-u.ac.jp indigod01.center.osaka-u.ac.jp (注1)
画像処理サーバ	Onyx 2	onyx02. center.osaka-u. ac. jp
演算サーバ	Exemplar (ノット 1～3)	(注2)
画像処理ワークステーション	Visualize	vis01. center.osaka-u. ac. jp から vis10. center.osaka-u. ac. jp
豊中データステーション用画像処理ワークステーション	Visualize	visd01. center.osaka-u. ac. jp visd02. center.osaka-u. ac. jp
インターネットサービス (別途、申請が必要)	POPサーバ NNTPサーバ	pop-server.center.osaka-u.ac.jp news-server.center.osaka-u.ac.jp

- (注1) indigod01は、豊中地区データステーションに設置。
 (注2) 演算サーバは、画像処理ワークステーションからLSFにより利用可能。

電子メールのアドレス

アドレス	メールの内容
questions@center.osaka-u.ac.jp (注)	センターの利用方法・使用方法に関する質問
admin@center.osaka-u.ac.jp	センターの運用に関する意見・要望など
kyoudou@center.osaka-u.ac.jp	センターの利用申請・登録に関する質問 利用者旅費の問い合わせ、講習会の受付
system@center.osaka-u.ac.jp	S X の特殊ジョブ(p32m、p64クラス)の利用届 演算サーバの特殊ジョブ(hp_p16、spp_p16)の利用届
sxusers@center.osaka-u.ac.jp	SX-4を利用する情報交換の場
kiji@center.osaka-u.ac.jp	速報・センターニュースに関する意見・感想など

- (注) questionsへの質問メールは、全てWWWで自動的に公開利用されますのでご了承ください。

演算サーバ HP Exemplar V2200/N のノード構成と L S F キュー種別

Exemplar は 3 ノードから構成されており、総 CPU 数は 48、総主記憶容量は 36GB です。表 1 に Exemplar のノード構成を示します。

表 1: Exemplar のノード構成

HOST	CPU	MMU	OS	利用形態
ex01	PA8200 × 16	4GB	SPP-UX5.3	並列化大規模市販アプリケーション (バッチ)
ex02	PA8200 × 16	16GB	HP-UX11.0	市販アプリケーション (インタラクティブバッチ) および
ex03	PA8200 × 16	16GB	HP-UX11.0	ハウスコード (バッチおよびインタラクティブバッチ)

なお、平成 11 年度には OS が HP-UX に一本化され、全ノードを統合して運用する予定です。

LSF (Load Sharing Facility) キュー種別

表 2: LSF キュー種別

キュー名	UJOB_LIMIT	CPU_LIMIT	SWAP_LIMIT	利用形態
interactive	8	1時間	1GB	ex02,03上のインタラクティブバッチ
hp_p2	2	8時間	2GB	ex02,03上の小規模バッチ
hp_p4	4	40時間	4GB	ex02,03上の中規模バッチ
hp_p8	8	80時間	8GB	ex02,03上の大規模バッチ
hp_p16	16	申請	16GB	ex02,03上の申請キュー
spp_p2	2	8時間	512MB	ex01上の小規模バッチ
spp_p4	4	40時間	1GB	ex01上の中規模バッチ
spp_p8	8	80時間	2GB	ex01上の大規模バッチ
spp_p16	16	申請	4GB	ex01上の申請キュー

[注意事項]

- (1) UJOB_LIMIT は利用者単位のジョブスロット数を表し、インタラクティブバッチの場合は同一利用者のログイン数、バッチの場合には各キューにおけるジョブの並列度の制限値を表します。
- (2) CPU_LIMIT は全 CPU 時間の合計で制限されます。
- (3) SWAP_LIMIT はプログラムの仮想メモリ使用量の制限値を表します。
- (4) hp_p16、spp_p16 は 1 ノードの全 CPU を利用するため、事前に申請が必要です。詳細はシステム管理掛にお問い合わせください。
- (5) Exemplar の直接的なインタラクティブ利用はできません。ただし、一旦画像処理端末にログインし、Exemplar のインタラクティブバッチキューを通せば LSF の管理下においてインタラクティブに利用することができます。
- (6) LSF では子プロセスを fork して wait せずに終了するジョブを管理することができません。このため、インタラクティブバッチのシェルを終了する際にはそのシェルのプロセスと同じプロセスグループ ID を持つプロセスを強制終了します。例えば、インタラクティブバッチでバックグラウンドプロセスを動かしてシェルを exit した場合、そのバックグラウンドプロセスは全て強制終了されます。

交換回線用電話番号

(附 表)

接続形態	通信速度:BPS	通信規格	電話番号	内線	備考
PPP	64K	ISDN (デジタル)	06-6816-2025	--	*1
	33.6K	V.34			
	56K	V.90 K56flex	06-6879-8983	8983	*2
Terminal Server	56K	K56flex	06-6879-8982	9409	*3
PHS (PIAFS準拠)	32K	PIAFS準拠 (デジタル)	06-6879-2081	2081	*4
			06-6879-2082	2082	
学情アクセスポイント	300 ~ 9.6K	V.21, V.22bis, V.32	06-6878-9864	--	*5

備考

- *1：デジタルとアナログは自動認識
 - *2、*3、*4：新設 1999年8月
 - *3：Terminal Serverを経由するとスーパーコンピュータ (SX-4)、ワークステーション (Visualize, alpha, onyx, indigo等) に接続可能。
 - *5：学術情報網の大阪地区のアクセスポイント。
- (注) Terminal Serverの手順は無手順 (LEVEL 0) を示す。

用語

BPS:Bit Per Second 1秒間に送信できるBit数
 ISDN: Integrated Services Digital Network サービス総合デジタル網
 K56flex: 米Rockwell社などが提唱
 PHS: Personal Handyphone System 簡易型携帯電話
 PIAFS: PHS Internet Access Forum Standard PHSデータ通信用の業界標準規格
 PPP: Point-to-Point Protocol 2点間データ通信プロトコル
 V.: ITU-T (国際電気通信連合電気通信標準化部門) 勧告

PPP接続する場合の設定

PAPログインスクリプト等は不要)、フロー制御: RTS/CTS、IPアドレス: サーバーから取得
 DNSのアドレス: (133.1.119.1) (133.1.181.1) (133.1.192.4)
 ドメイン: center.osaka-u.ac.jp

無手順 (LEVEL 0) 接続する場合の設定

通信方式	データ長	Stop Bit	Parity	フロー制御	文字種	エコーバック
全二重	8 Bit	1 Bit	None	RS/CS	EUC	OFF

各センターの学情網加入番号

大型計算機センター等	学情網加入番号
東北大学大型計算機センター	913-6200
東京大学情報基盤センター	931-1600
名古屋大学大型計算機センター	951-5000
京都大学大型計算機センター	701-0004 (MSP)、701-0003 (UXP)
九州大学大型計算機センター	981-2000 (MSP)、981-7400 (UXP)
学術情報センター	941-5300 (情報検索) 941-5200 (電子メール)

学術情報網アクセスポイント電話番号一覧

設置場所	電話番号
札幌	011-746-0608
仙台	022-268-7706
東京	03-5395-1285
名古屋	052-781-5995
東広島	0824-22-9353
福岡	092-632-5057

(附 表)

利 用 負 担 額 一 覧

(平成11年4月1日現在)

区 分		負 担 額
基本負担額		1年につき2,000円(1会計年度内の最初の登録時)
演算負担額	バッチ処理	計算依頼1件ごとのCPUタイムにつき スーパーコンピュータ使用の場合 300秒までの1秒につき2円 300秒を超え900秒までの1秒につき1円 900秒を超える1秒につき0.4円 ワークステーション使用の場合 CPUタイム1秒につき0.08円
	TSS(会話型)処理	スーパーコンピュータ使用の場合 CPUタイム1秒につき2円 ワークステーション使用の場合 CPUタイム1秒につき0.08円
出力負担額	プリンタ	プリンタ用紙1頁につき4円
	乾式カラープリンタ	紙、OHPシート1頁につき100円
	湿式カラープリンタ	紙、OHPシート1頁につき200円
ディスク・ファイル使用負担額		スーパーコンピュータ使用の場合 1単位1日につき0.2円 ファイルサーバ使用の場合 1単位1日につき0.1円
BIOS使用負担額		1年(1会計年度)につき5,000円
その他		FAXサービス 市内(06発信):1分につき10円 市外(06発信以外):1分につき60円 POP(電子メールサーバー)、NNTP(電子ニュース配送)、PPP(ダイヤルアップIP接続)サービス 1月につき1,000円
各区分共通負担額		前記区分に従い算出した利用負担金額を月ごとに集計した合計額に100分の5を乗じて得た額

備 考

- 1 負担額に関する計測は、システム内蔵の方式によるものとし、端数が出た場合は、切り上げる。
- 2 各負担金額に1円未満の端数が生じたときは、各負担額ごとに、これを1円に切り上げる。
- 3 複数CPUを使用した場合の演算負担額におけるCPUタイムの算出方法は、別に定める。
- 4 ファイル使用負担額における1単位は、スーパーコンピュータは200キロバイト、ファイルサーバは250キロバイトの情報量を表すものとする。
- 5 ファイルサーバ使用時のファイル使用量250キロバイトまでは、負担金を免除する。
- 6 登録番号ごとに各負担金額(共通負担経費を除く)を集計した1月の合計額が100円未満の場合は100円に切り上げ、これに共通負担経費を加算して負担経費の総額を105円とする。
- 7 別に定める試用制度による利用を認められた者は、登録日から2週間以内で、各負担金額(基本負担額を除く。)の合計額が1,000円に達するまで利用できるものとする。この場合において、負担金は免除する。

附 則

この改正は、平成11年4月1日から施行する。